

いってきます

いって  
らっしゃい  
あなた♡  
気をつけて

今日も一日  
頑張っ  
てね♡

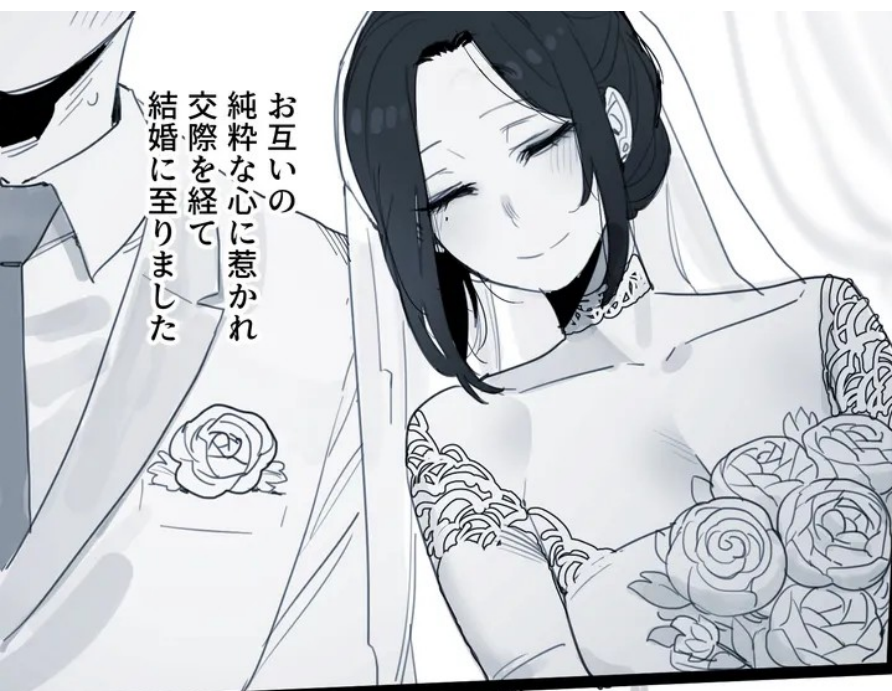
……

かおる  
薫さん(3X歳)

結婚〇年目の専業主婦  
一人の息子に恵まれる

夫は平凡なサラリーマン  
家族三人で一緒に  
華やかではないけれど  
世界一幸せな日々を  
送っています♡





お互いの  
純粋な心に惹かれ  
交際を経て  
結婚に至りました

夫とは大学時代に  
先輩後輩の関係で  
初めて出会った



二人きりの  
デートなんて  
久しぶりね♡  
大学生の頃を  
思い出すわ



…おお…

そ…  
そうかな…



なかなか  
いい女  
じゃないか…

隣に  
いるのは  
旦那か？





けれど  
永遠だと  
信じていた  
幸せは…

おかえり  
あなた♡

ご飯  
もうすぐ  
できるから

…ごめん  
ちよっと  
食欲が…

先に部屋で  
休んでるね…



ある日  
突然…

おかえり…

…うん…



お母さん  
ご飯  
まだ…?

…何か  
あったの  
かしら…?

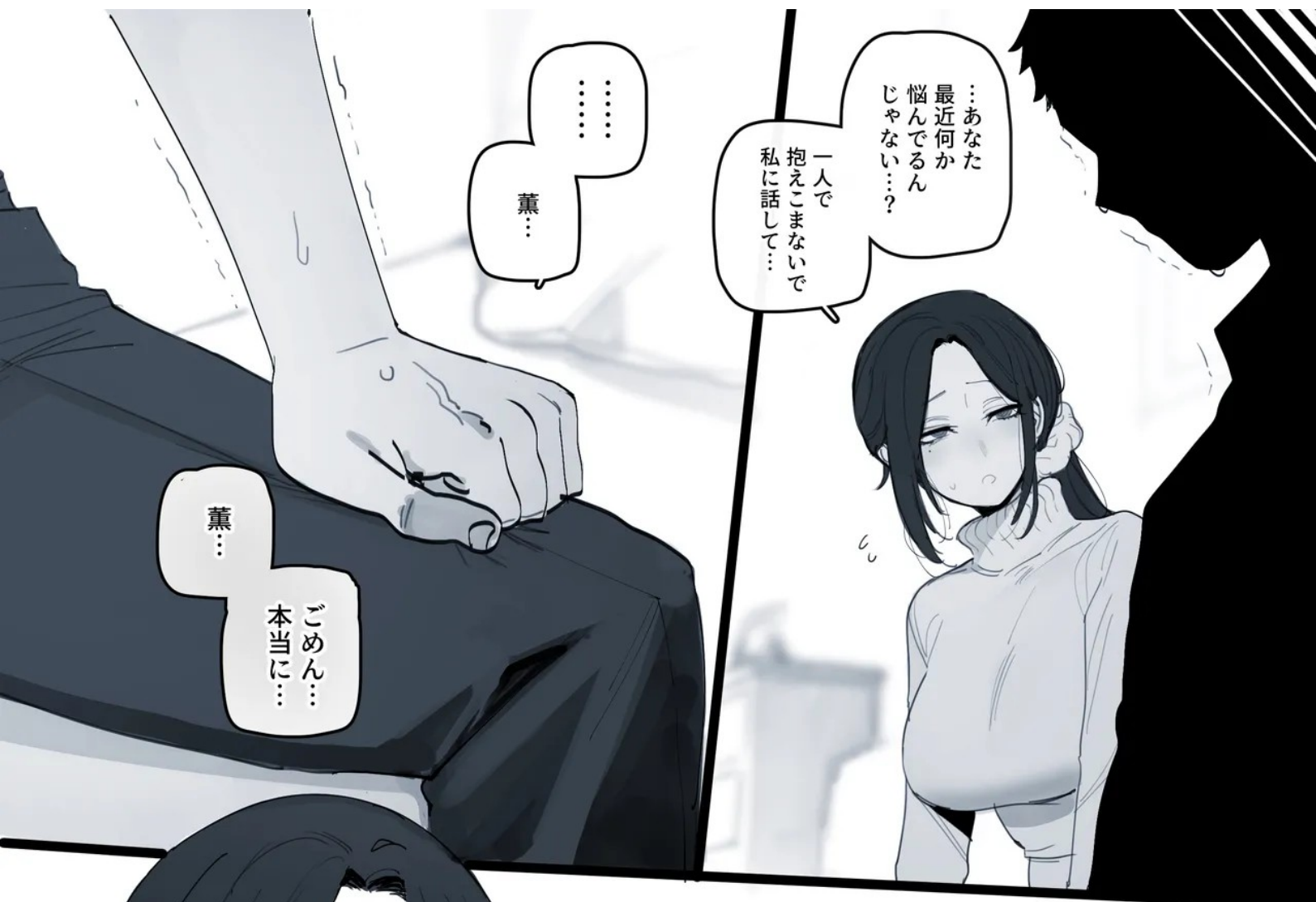
…?



最近ずっと  
この調子…

今日も  
ダメそう  
ね…





.....  
薫...

一人で  
抱えこまないで  
私に話して...  
...あなた  
最近何か  
悩んでるん  
じゃない...?

薫...  
ごめん...  
本当に...



全てが一変して  
しまったのです

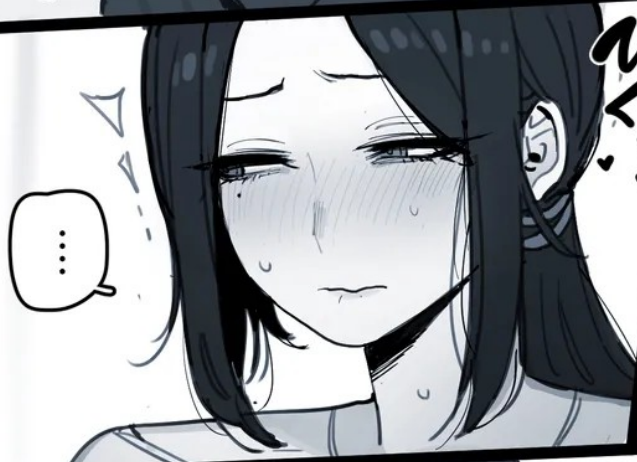
夫の話を  
要約すると…

夫が総責任者を  
務めていた  
プロジェクトが  
失敗してしまい…

今回の損失は  
我々としても  
非常に残念に  
思っている

支援をもらっていた  
企業に到底返しきれ  
ないほどの負債を  
抱えることになり…

その企業の会長が  
寛大な対応と  
引き換えに提示  
してきた条件は…



んぐっ

…



スリ  
スリ…

だがまあ…  
この契約さえ  
守ってくれば  
もう君の過ちを  
責めはしない

私の言っ  
ている意味…  
分かるね？



…

期限は無制限…  
夫が借金を  
完済するまで  
妻である私を  
「担保」として  
差し出すこと…

ほらもう  
君に用はない  
さっさと  
出て行ってくれ

…はい…  
ま…誠に…  
申し訳ござい  
ませんでした  
会長様…

ガ  
タ  
ン

!

!

ク  
ク  
ク...

ん...  
ちよつと...  
こんな場所で  
何を...

...

ん...  
ん...

ここは  
私の会社で  
私のビルだ  
と自由

そもそも  
このフロア全体が  
私の趣味のため  
だけに用意された  
特別な空間なのさ♡

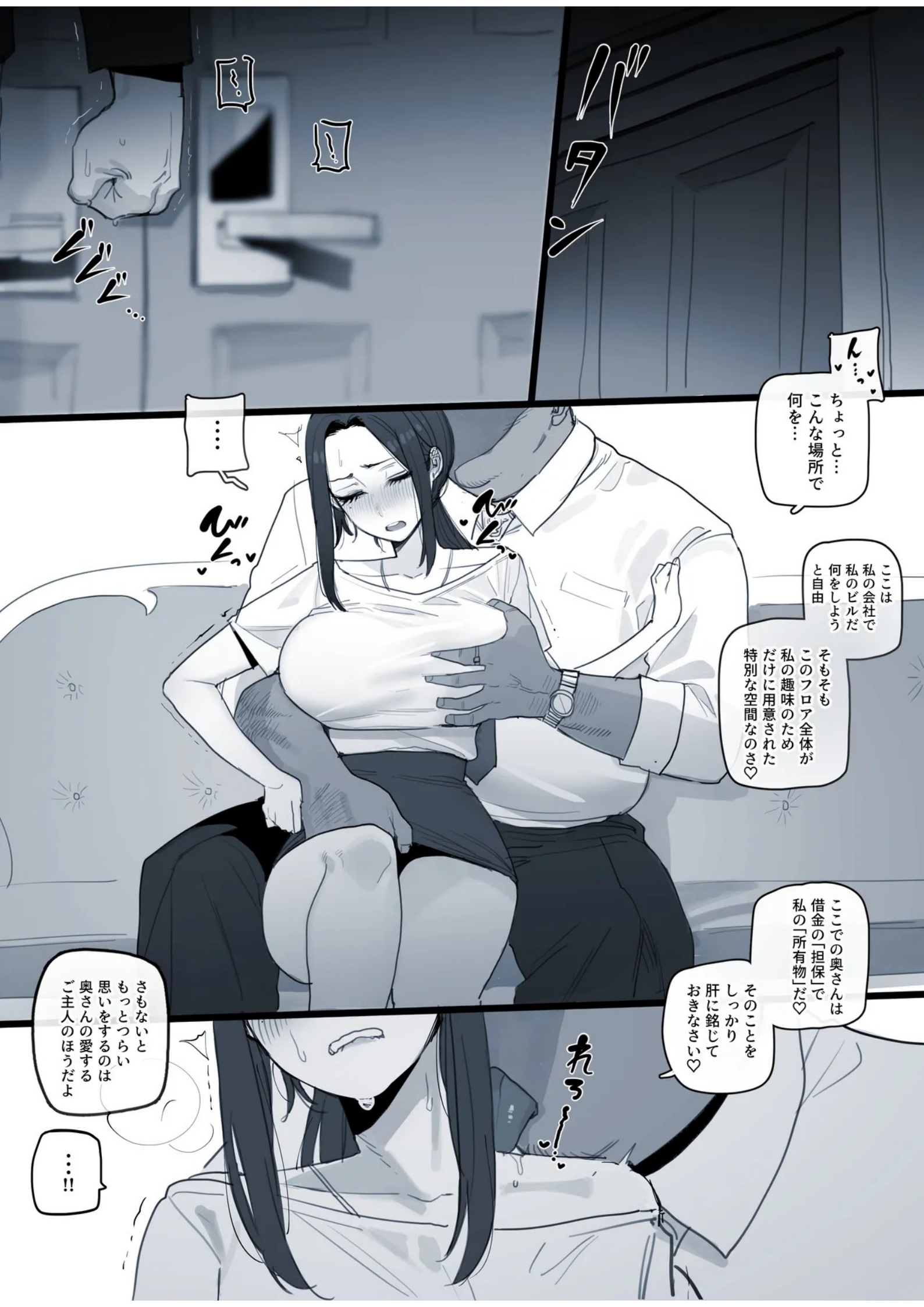
ここでの奥さんは  
借金の「担保」で  
私の「所有物」だ♡

そのことを  
しっかり  
肝に銘じて  
おきなさい♡

さもないと  
もつとつらい  
思いをするのは  
奥さんの愛する  
ご主人のほうだよ

...!!

れろ



…イヤ…

気持ち悪い…

それにしても  
何度見ても  
この胸は  
圧巻だな♡

今まで抱いた  
女たちの中でも  
指折り数える  
ほどの巨乳だ♡

これだけの身体を  
持っていないながら  
初心そうなところ  
もまたそそる…

…

大丈夫  
今日から私が  
たっぷり  
可愛がって  
あげよう♡

さあ私の  
前に立って  
自分で脱いで  
ごらん♡

所作も  
言葉遣いも  
何もかも…

夫とは違って  
乱暴で下品…

…不快…

怖い…

でも…  
それでも…

ああ—  
美しい…  
最高だ…♡

もじ…

もじ…

絶好の熟れ具合だ  
まったく…  
自分の豪運に  
震えてしまうな♡

モノに  
できて  
本当に  
嬉しいよ♡

さあ跪いて  
私のチンポに  
奉仕しなさい

家族のために…  
夫のために…  
妻の私が  
乗り越えなきゃ…

フワッ

…

こんな  
低俗で最悪な  
男にだけは…

奥さんがあまりに  
魅力的だから  
もうこんな  
なってしまったよ

え…？

ぽろん

旦那さんには  
口でして  
あげたこと  
ないのかい？

あっ…ちが…  
こんなの…  
その…だから…

ぽろん

ぽろん

嘘嘘嘘

なに…これ  
こんなの…  
ありえない  
おちんちんって  
こんなに  
大きくなる  
ものなの？

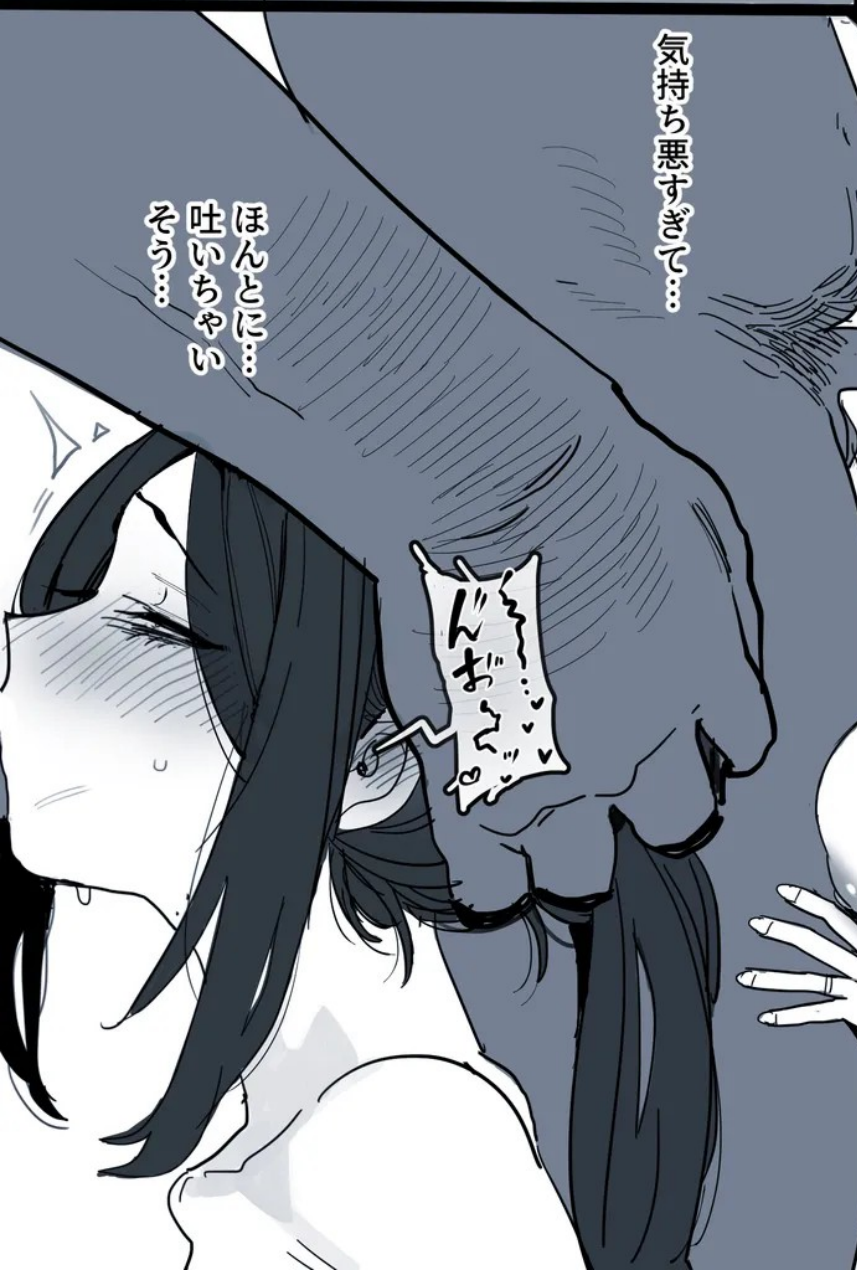
まるで  
別の生き物  
みたい…



酷い  
ニオイ...

なるほど  
確かに  
慣れてないのが  
丸わかりだ

まあいい  
すぐに  
仕込んで  
やるさ♡



気持ち悪すぎて...

ほんとに...  
吐いちゃい  
そう...





まだ初日だ  
慣れていない  
フェラは  
これぐらいに  
しておいて

は...は...  
げま...  
げま...

ただし  
私が許可を  
出すまでは  
挿入は禁止

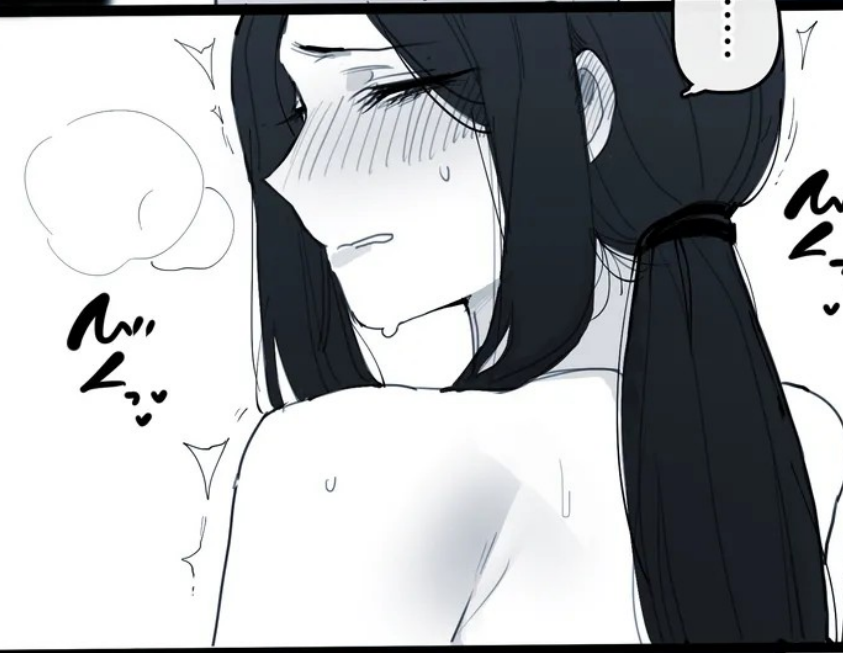


…こんなのを  
中に入れて  
しまったら…  
ドキ

対面座位の  
やり方は  
分かるか？♡  
奉仕する時の  
基本の体位だ♡



…ふふ  
そうそう  
丁寧に先端を  
擦りつける



…あつ  
いえ…  
なんでも…  
あん…

んん…？  
どうした？

あ…



うっ♡  
この男…  
おなじ♡





ない...っ

あ



...おっと  
悪いね

うっかりして  
一気に奥まで  
挿入れて  
しまった♡

うあ...っ  
あえ??

???

ゴッゴッ

ぎゅん

ちよ…♡  
ちよっ♡  
待ってくだ…♡  
ひゃあん♡

は…は…は…♡  
あ…あ…あ…♡

余裕ぶって  
いたのに  
あっさり  
崩れたな

今の奥さん  
全身が性感帯  
みたいにな  
ってるよ♡


た…た…た…♡  
た…た…た…♡

ぬ…ぬ…ぬ…♡  
ぬ…ぬ…ぬ…♡


この男の  
セックスは…

優しいだけの  
夫のそれとは  
まるで違って…♡





女性をただの  
「所有物」としてしか  
見ていないような  
激しいピストンで…



「お前の主人は俺だ」と  
私の一番の奥に  
何度も…何度も…  
刻みつけてくる…♡

そんな  
セックス  
だった…♡

ギンギン  
ギンギン  
ギンギン  
ギンギン

あ  
ん  
また  
ん  
ん

ん  
ん  
ん

は  
ん  
ん  
ん

ん  
ん  
ん

ん  
ん  
ん  
ん  
ん



おはっ！

これおはっ！  
やめ

うおお♡  
スゴい締め付けだ…  
油断するとすぐ  
イってしまうな♡

本当に君は  
極上の女だよ  
薫♡

んっっ…♡

全体重で…♡  
子宮押ししつぱ  
されてる…♡

おはっ！  
おはっ！

ズッ♡  
ズッ♡  
ズッ♡  
ズッ♡  
ズッ♡

んっっ♡  
んっっ♡

ヤバ…♡  
なに…♡  
これえ…♡

私のモノに  
なった証を  
マーキング  
してやる♡

一滴残らず  
子宮で  
受け止める♡

イヤ…♡

イっちゃう♡  
イかされる…♡  
こんな男に—

ズッ♡  
ズッ♡  
ズッ♡

中は  
だめ♡

だめ♡  
だめ♡

ザッ♡  
ザッ♡  
ザッ♡

イっちゃう♡

んんん♡  
んんん♡

んんん♡  
んんん♡  
んんん♡

んんん♡





フー…  
おい後始末しろ  
それと…  
基礎をみっちり  
叩きこんでおけ

これからが  
本当に楽しみだ  
ククク♡



はい  
承知しました  
会長様